

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら磐田城之崎教室		
○保護者評価実施期間	令和5年6月1日		～ 令和6年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42人	(回答者数) 41人
○従業者評価実施期間	令和5年6月1日		～ 令和6年8月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 11人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年9月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ間の情報共有ができており、スムーズな連携体制がとれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝朝礼を実施。朝礼の際に全員で運営理念(10項目)を日替わりで確認をし、初心を忘れないようにしている。 ・児童発達支援、放課後等デイサービス共に、朝礼以外の時間で担当ごとで引継ぎの時間を確保している。スタッフそれぞれの業務の進捗状況等を共有しあうことで疎外感が生まれにくくなり、互いに助け合えるような仕組みづくりを心掛けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・報連相と情報共有を徹底し、チーム全体として支援に取り組む姿勢を忘れない。 ・明確な役割分担を行い、疎外感が生まれにくい職場環境を心掛ける。 ・スタッフ同士で感謝の気持ちを忘れない。
2	多種多様なプログラムを提供できるよう創意工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム実施後に振り返りを毎回行い、反省点や改善点を次回の実施に活かしている。 ・取り組むプログラムが固定化されないよう一か月を通して組み方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様からの意見も取り入れ、プログラムを組み立てていく。 ・お子様の「やってみたい!」「できた!」の気持ちを大切にできるような内容を心掛けていく。
3	通所を楽しみにしてくれているお子様が多い。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容がマンネリ化しないように心掛けている。また、その内容はお子様からのリクエストも取り入れるようにしている。 ・施設内での活動に留まらず、施設外での活動も積極的に取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援するスタッフ同士もコミュニケーションを円滑に行い、元気で明るい職場環境の維持に努めていく。 ・保護者様との連携を密に行い、お子様の状態把握を怠らない。気になることがあれば気軽に話ができるような関係作りを目指す。 ・お子様が主体性をもって活動に参加できるような仕組み作りを整えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流の回数の少なさ。	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような活動が地域交流として位置づけられているのかという点がスタッフの認識としても不十分であったこと。その為、保護者様に対して発信が不十分であり、施設全体として認知度が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間で、どのような活動が地域交流として位置づけられるのか共有しあう時間をもつ。 ・SNSを活用し、プログラム以外の取り組みも積極的に発信していく。 ・他施設の取り組みを学び、自身の施設でどう活かせるかを検討していく。
2	避難訓練と安全点検の実施、マニュアルの活用についての周知ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練と安全点検の実施はできているが、その実施内容に関して保護者様への発信が不十分であった。(マニュアルに関して同様。) ・マニュアルに触れるスタッフが固定化されてしまっていたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様に対し、どのような目的でどのような取り組みをしているかをご理解頂けるよう、発信方法について再度検討していく。 ・マニュアルについては定期的な見直しを行い、スタッフ間でのマニュアル認知度を高めていく。
3	家族支援のイベントや、ご家族に対する研修や勉強会の提供の不十分さ。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設として取り組み実績の少なさが影響している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所の取り組み内容を学び、自分たち施設で実施に繋がられる為の案を模索していく。 ・保護者様からのニーズを把握し、ご希望に沿えるようなイベントや勉強会を組み立てていく。